

基礎基本の定着を図り、表現力を高めるための学習指導の工夫
—国語科を中心とした言語活動の充実を通して—

日立市立水木小学校

1 はじめに

本校では、基礎基本の定着を図り、表現力を高めるための学習指導の工夫に取り組んでいる。校内での相互授業参観や、他校の実践事例をもとに、学年・低中高ブロックでの話し合いや全職員での研修等を通して、言語活動の充実を図っている。その中で行われた、生活科の授業実践について以下にまとめた。

2 指導案

(1) 単 元 はなややさいをそだてよう

(2) 目 標

- 植物の成長に興味・関心をもち、意欲的に育てようとしている。(関心・意欲・態度)
- 植物の成長を自分なりの方法で表現することができる (思考・表現)
- 植物が生命をもっていることや、成長していることに気付くことができる。(気付き)

(3) 指導にあたって

本学級の児童は、動物や植物に対しての興味・関心が高い児童が多い。そのことは、休み時間に昆虫を探したり、下校途中で見つけた虫や花の話をしていることから分かる。入学してまもなく、2年生からアサガオの種をプレゼントされた時は、どの児童も喜び、うれしそうに持ち帰っていた。その種を庭にまいたり、家族が育てている花や植物を見たりして、植物の成長にある程度の知識はあるものの、芽が出た後の成長の様子については詳しく観察したことがない児童がほとんどである。

本単元は、学習指導要領の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定している。本単元では、あさがおの観察を通して、身近な植物に関心をもち、それらが生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物を大切にし、世話をする喜びや楽しさを味わうことをねらいとしている。

指導にあたっては、小さな一粒の種から芽が出て、成長していく途中での発見や驚きを大切にしながら、観察を続けていきたい。また、大きく育つためには、たくさんの世話が必要であることにも気付かせたい。また、観察カードの記録を通して、気付いたことを分かりやすく書く力をつけられるようにする。そのために、継続して観察カードを記録することにより、前回との違いに気付くことができるようにする。さらに、成長の様子について友達と意見を交わしたり、発表したりする機会を積極的に設けることで、自分の頑張りや友達のよさに気付くことができるようにする。

(4) 指導・評価計画(16時間取り扱い)

第1次	なにをそだてようかな	2時間
第2次	はやくめをだしてね	2時間
第3次	おおきくなあれ	2時間

次	時	主な学習活動・内容	観点	評価規準(評価方法)
3	1	・アサガオを観察し、ワークシートに絵や言葉でまとめる。	思・表	・アサガオの成長に関心をもち、気付いたことや発見したことを進んで記録することができる。 (観察・ワークシート)
	②	・アサガオの観察で気付いたことや発見したことについて発表する。	関・意・態	・アサガオの様子について気付いたことを発表することができる。 (発表)

第4次 はながさいたよ 3時間

第5次 たねがとれたよ 7時間

(5) 本時の指導

①目 標

アサガオの様子について、気付いたことや発見したことを発表することができる。

②準備・資料

ワークシート・実物投影機・声のものさし・発表の仕方(掲示用)

③展 開

☆言語活動を充実させる手立て

○個への支援

学習活動・内容	支 援 と 評 価 の 観 点
1 本時の活動をつかむ。 あさがおのかんさつでわかったことをはっぴょうしよう。	・アサガオの成長を振り返りながら、一生懸命世話をしていることを賞賛し、学習への意欲を高めるようにする。
2 アサガオの観察で分かったことについて発表する。 ・葉の数が増えた。 ・葉の形が三角になっている。 ・葉がふわふわしている。 ・最初の2枚の葉が枯れている。 ・つるが出てきた。 ・葉が大きくなっている。	☆発表の仕方については、国語の既習事項を振り返り、姿勢や声の大きさに気をつけることを確認する。 ○発表がうまくできない児童には、ワークシートを見て、一緒に読むようにする。 ☆友達の発表を聞く態度についても確認し、拍手をして賞賛することを確認する。 (評) 進んで発表をしたり、友達の発表を聞いたりしているか。 (関心・意欲・態度)(発表)
3 アサガオの成長についてまとめ、これからの世話について考える。 ・水をやる。	・アサガオのつるの役割についても簡単に触れ、支柱が必要なことに気付かせたい。 ・どんな花が咲くか予想することで、続けて

・肥料をやる。 ・支柱を立てる。 ・つるがからまるようにする。 ・日が当たるようにする。	アサガオの世話をする意欲付けとしたい。
4 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。	・今日の学習の頑張りを認め、引き続きアサガオの世話をする意欲をもたせるようにする。次時は、支柱を立てることを知らせる。

3 資料

<資料1>



(アサガオの観察についての発表)

<資料2>

みつけたよ！ あさがおのつる

6がつ18にち	天気 ☀ ☁ ☔ ☾
1ねん3くみ ぼん	なまえ

はやく はな かさいてはいてあまのり
すは8まいでいた。くさのいろは、ちい
ろとむらさきのいろになつていましたあお
きいろは7よりち、とちいろか、アす

(アサガオの観察記録①)

<資料3>

みつけたよ！ あさがおのつる

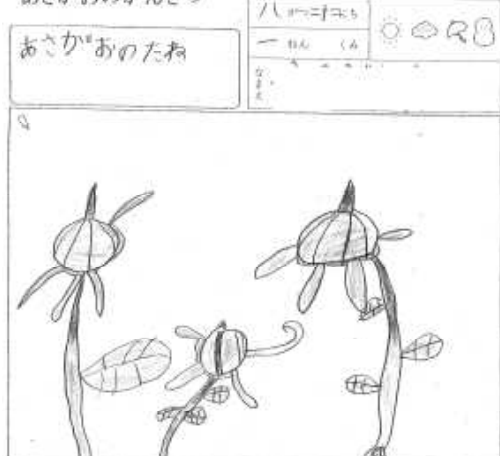
6がつ26にち	天気 ☀ ☁ ☔ ☾
1ねん3くみ ぼん	なまえ

おおきくなつてあつくりしてあまのり
のかすは9まいであつるにつは"み
がで7いしました。おおきさは7よりち
とおおきかつたアす

(アサガオの観察記録②)

<資料4>

あさがおのかんさつ



あというお=たねになてしまひまは。
なんこたねか"はいるのかな
ニがきにみんなととるめかなの
みです。なんにはいるのたのみですね。

(アサガオの観察記録③)

<資料5>

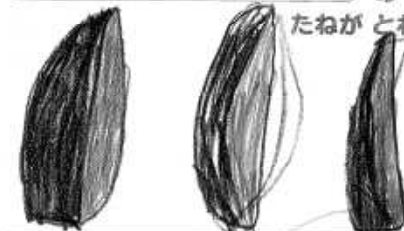
はっけんカード

10 5 ねまえ かつ にち

あさがお

の

たねがとれたよ。



まいたたねと。たねはあお
きさがおなのとちがうのかあは
びふたつ。のたねが2ちのたね
をつくりました。ごいなおといま。



はる なの
ふうすを
おもいだそう。



(アサガオの観察記録④)

4 成果と課題

観察で分かったことの発表では、資料1にあるように、ワークシートを実物投影機で映しながら行った。絵があることで発表の内容が分かりやすかった。発表の仕方については、国語の授業とも関連させ、既習事項を確認しながら進めることができた。そのため、発表するときの姿勢や話し方については、姿勢や声の大きさに注意しながら発表していながら児童が多く見られた。また、発表の前にアサガオを観察するときのポイントを、具体的に提示することで、資料2、3にあるように、「はのかずが8まい」「おおきさはてよりちいさい」「くきのいろはちゃいろとむらさき」など分かりやすく記録できた児童が多く見られた。

アサガオの観察記録は日付ごとにスケッチブックに貼り付け、成長の様子が分かるように整理している。資料5は収穫した種を観察したものであるが、まいた種の絵と比べて分かったことが記録してあり、成長の様子を振り返ることができたことがわかる。

課題としては、分かったことを発表するだけで終わってしまい、児童の気付きや疑問が広がらなかったことがまず挙げられる。話を聞く姿勢や、質問や意見を言うときの注意など国語の学習とも関連を図り、一方通行の発表だけでなく、質問や意見を言う場面をもうけるなど、工夫していきたい。また、観察のポイントは「色」「形」「大きさ」「におい」「手触り」「前と違っているところ」「数」など提示して2つか3つを選んでワークシートにまとめるようにしたが、提示する数が多くて、どれにするか決められず時間がかかる児童もいたので、提示の仕方について改善していく必要がある。

生活科の授業は楽しみにしている児童が多いので、楽しみながら考えたり発表したりする力を伸ばしていけるように、今後も研修を重ねていきたい。